

科目名	グローバルインターンシップ(電子・通信システム工学コース)				英文表記	Global Term Internship		2013/09/21	
科目コード	6022								
教員名:【電子通信】杉本和英, 兼城千波								修正	
技術職員名:									
対象学科/専攻コース				学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
創造システム工学専攻・電子通信システム工学コース				専2	選	学修	2単位	実習	集中講義
科目目標	①海外経験を通じた異文化に対する理解を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 ②習得した語学力や異文化理解を通し、実社会で必要な要素・能力(企画力、計画性、実行力、労働・契約)								
総合評価	研修(日報による評価30%)および研修先の評価(50%)、およびインターンシップ報告書の内容(20%)で評価する。60%以上を合格とする。								
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)				達成度目標の評価方法			目標割合	
	①	海外での研修(企業・語学研修など)を通じて実践的な技術・語学力を身につける。(C-1)			⇒	研修(日報による報告)(30%) 研修先評価(30%)		60%	
	②	異文化理解に必要な基礎的な素養・協調性・能力・価値観を身につける。(A-1)			⇒	研修先評価		20%	
	③	海外での研究・学習を通して、グローバルな視点で物事を考え、研究を遂行できる能力を身につける。(A-1)			⇒	研修報告による評価		20%	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	情報通信システム工学			
	○		◎		JABEEプログラム教育目標	A-1, C-1			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合									
		目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果)	総合評価	セルフチェック	
評価項目			0	0	60	40	100		
基礎的理解		①			10	10	20		
応用力(実践・専門・融合)							0		
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)		①②③			30	20	50		
主体的・継続的学修意欲		①②③			20	10	30		
授業概要、方針、履修上の注意	<p>履修を希望する学生は、科目担当教員の指導を受け、授業計画に基づいて、インターンシップを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の現場を体験することで、実践的語学力や専門的な技術を理解する。 ・海外経験を通じた異文化に対する理解を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 ・学校教育と就業体験の結合により、より高いグローバル意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。 								
教科書・教材	教員作成資料、企業作成資料								

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフチェック
1	講義内容説明・ガイダンス	1	インターンシップの意義と講義の進め方についてガイダンス		
2	インターンシップ先研究	9	企業研究、大学受け入れ先検討		
3	インターンシップ	70	約2週間の企業研修・大学での研究・語学研修プログラム		
4	成果報告まとめ	10	インターンシップ報告書の作成・報告会資料作成・報告		
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末	期末試験	[0]			
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験	[0]			
学習時間合計		90	実時間	67.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	レポート(実務内容に沿ったレポート・調査・日報を課す。)			各3時間×15回	
②					
③					
備考欄					
(共通記述) ・ この科目はJABEE対応科目である。その他必要事項は各コースで決める。 (各科目個別記述)					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)